

○決議案(1件)

番 号	件 名	議決結果
決議案第1号	ロシアのウクライナ侵攻を非難する決議	原案可決

○意見書案(1件)

番 号	件 名	議決結果
意見書案第1号	安全・安心の医療・介護・福祉を実現し、国民のいのちと健康を守ることを国に求める意見書	原案可決

陳情に対して討論が行われました

陳情第10号 稲川小学校への安全・安心な通学環境整備に関する陳情書に対する討論の要旨

佐藤 勝議員 反対

教育民生常任委員として、教育委員会、駒形小学校、PTA代表者、陳情者、それぞれの立場の方々からお話しを伺うとともに、危険と指摘される通学路の現地調査を行った。通学路や通学方法の決定に至るまでの過程は、しっかりとした手順を踏み、統合準備会や通学検討部会などにおいて、時間をかけて慎重に協議し、保護者と合意形成を図りながら決定されていた。また、最も危険と指摘されている十字路には、令和4年度中に横断歩道と歩行者用信号機が設置される予定となるなど、安全・安心な通学環境が徐々に整ってきていることを確認した。

開校が迫るなか、統合に関係する各小学校への影響なども考慮する必要がある。これまで準備を進めてきた教育委員会や統合準備会の決定を尊重し、不採択とすべきものと考えます。

沓澤 正雄議員 賛成

開校以来146年続いた駒形小学校が統合のため閉校となり「稲川小学校」となることに伴い、安全で安心できる通学環境整備に関する、八面地区の保護者及び住民493名の署名が付いた八面部落総代からの陳情である。

八面地区から稲川小学校までは、市教育委員会が通学基準に定める2キロメートルから4キロメートルまでの範囲内にあり、中学生は年間を通してバスの通学支援を受けているが、同じ条件の小学生への通学支援は冬期間に限られている区域がある。また、新たな通学路には交通事故多発区間があり、途中にある交差点は、歩行者用の信号機や横断歩道、ガードレールもない危険な十字路である。この危険箇所を整備は、開校までは困難であるとの報告も受けている。

このことから、令和4年4月の開校に当たっては、登下校の児童の安全・安心を図るためにスクールバス通学を最優先としていた、いただきたい。ご賛同をよろしくお願ひします。

賛否一覧表

採決で賛否が分かれた案件を掲載しています。

議長は採決に加わりません。 ○：賛成 ×：反対 欠：欠席 退：退席 除：除斥

会派名	湯 和 会 ・ 公 明								政 和 会						湯沢政策研究会		議決結果	
	1	2	9	10	11	12	17	18	7	8	13	14	15	16	5	6		3
議席番号																		
議員名	兼子正寛	高橋健	柏原久寿	高橋肇	佐藤愛子	高橋達	渡部正明	佐藤功平	寺田純二	小田嶋秋一	加藤昭嗣	石川隆一	高橋克己	沓澤正雄	藤田健志	大山豪	宮原晃	佐藤勝
陳情第5号	×	×	×	×	×	×	△	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×
陳情第6号	×	×	×	×	×	×	△	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×
陳情第10号	×	×	×	×	×	×	△	×	×	退	×	退	退	○	×	×	×	×

※陳情第5号 介護をする人・受ける人がともに大切にされる介護保険制度への転換を求める国への意見書提出の陳情
 ※陳情第6号 沖縄戦戦没者の遺骨等を含む土砂を埋立てに使用しないよう国に要請する意見書の提出要請に関する陳情書
 ※陳情第10号 稲川小学校への安全・安心な通学環境整備に関する陳情書